

穂 学



令和4年度

広島日本人学校 学校便り

[No.17]

令和4年12月5日(水)

発行責任者 校長 加藤康徳

「予餞会(中3に感謝と激励を伝える会)を実施しました。」

例年、12月に入ると受験のため、或いはインターナショナル校に編入するために来年度の卒業式を待たずに中学部3年生の中には広島日本人学校を去る子どもがいます。また、例えば広島日本人学校に在学していたとしても最高学年としての役割は既に中学部2年生に引き継がれております。このような状況から、今年度より「予餞会」をこの12月に設定し、小学部1年生から中学部2年生の児童生徒とから感謝と進学に向けての激励の気持ちを伝える会を設定し、とりあえずのお別れとしての「けじめの会」を行うことにしました。

ただ、このコロナ禍の中、登校ができない状況であるので、オンラインで実施し、その様子を後日在校生が録画したものを見ることにしました。

会では、卒業証明書の代わりに在学証明書を発行し、確かにこの広島日本人学校に在学している(いた)ことを証明した後、記念品を紹介しました。(在学証明書と記念品は後日生徒に届きます。)そして、中3の生徒から一人一人の今後の決意を聞き、生徒会長からの感謝の言葉を聞いた後、教職員と一緒に校歌を歌いました。

この日から中3の生徒はいよいよ本格的に次のステージに向かう心の準備が整ったのではないのでしょうか。この会の目的の通り、一つの「けじめ」になった会だと感じました。これで心置きなくこの学校を旅立って行ってもらいたいです。頑張ってください。

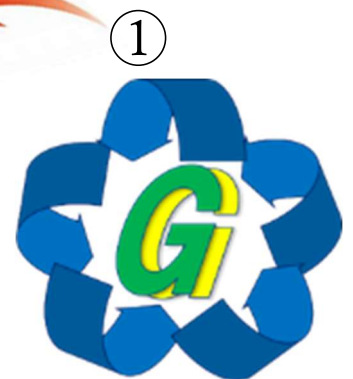


<記念品の飛び出す絵本>

<学校経営のスローガン>
「つながり」を「未来に実感」させる
広島日本人学校の創造

<大切にしている5つのつながり>

- ①先生とのつながり
- ②授業とのつながり
- ③友だちとのつながり
- ④保護者・日本人社会とのつながり
- ⑤中国とのつながり



「予餞会 感謝と激励の言葉」

「新型コロナウイルスによる感染拡大の防止のために、本来ならばこの予餞会(感謝と激励の会)は全校の児童生徒が体育館に一堂に集まり、中3の皆さんと感謝と激励の気持ちを享受し合う会でしたが、このようにオンラインで実施することになり大変残念に思います。ただ、今も同じクラスの仲間ですが、もう学校を去っている人、進学の準備のために帰国する人など、皆さんは既にそれぞれに進む道の分岐点に差し掛かっていま

す。この予餞会は卒業式ではもう会えない人がいる状況から、しっかりと感謝と激励の気持ちを持ち、お別れをし、次のステージに向かうための準備を安心して行えるようにと考え今年度新たに設定をしました。画面上ではありますが、今日の日を以って、安心してみなさんにこの広州日本人学校を去るための一步を踏み出すけじめの日としたいです。

中3の皆さん。今まで小学部1年生から中学部2年生のリーダーとして、実に多くの場面で活躍してくれました。運動会、各種委員会などでの愛校心を持った活動は、下の学年にしっかりと受け継がれていると私は感じます。皆さんは本校の9年生として最高のお手本となっていました。本当にありがとうございました。あなたたちが築いてくれた広州日本人学校の伝統はきっと在校生が引き継いでくれることでしょう。

さて、皆さんが義務教育として最後に過ごした令和4年は、日中国交正常化50周年という、日本と中国にとって大切な節目の年です。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により、本校においても様々な取り組みが中止なるなど、次の五十年に向けた取り組みに弾みをつけることがなかなかできません。

ただ、このようなコロナ禍で出来ないことが多いからこそ、視点を変え、考え方を換え、自ら行動をすることの大切さを皆さんには学んでほしいと私は考えています。これから皆さんは人生において、時には思い通りにならないこともあるでしょう。時には立ち止まりじっくりと考えることもあるでしょう。でも、視点を変える、考え方を換える、自ら行動するという学びをしっかりと思い出し、確実に前に進んでください。そうすることでやがては必ず目標を達成することができると思います。それに皆さんには、「時間」という私たち大人には無い大きな財産を持っています。ぜひ、この広州日本人学校での学びと「未来」と言う時間を有効に活かして、豊かなそして、価値のある人生を歩んでもらいたいです。それが私の願いです。

最後になりますが、かの有名なウォルトディズニーはこうに言っています。『夢をかなえる秘訣は、四つの「C」に集約される。それは、「好奇心」「自信」「勇気」そして「継続」である。』ディズニーには少し失礼かもしれませんが、夢と呼んだらかなわないこともあるかもしれませんが、夢を目標と呼んだらそれは現実になるかもしれません。中国に住んでいる皆さんは既に理解していると思いますが、世界のグローバル化はますます進んでいます。それにともない「価値のある目標」も増えています。

中3の皆さん。広州日本人学校の思い出を忘れずに次のステージでも活躍してください。皆さんのこれらの活躍に期待しています。

以上で、中3の生徒への感謝と激励の言葉を終わります。」

令和4年12月2日

広州日本人学校 校長 加藤康徳

「タブレットの貸し出しがスタートしました。」

先週、GIGA スクール構想（一人 1 台のタブレット）に基づき理事会の承認を得て購入した iPad を各教室に搬入して、そこからタブレットの貸与を希望する家庭に届けました。これによりオンライン授業の環境をかなり充実させることができたのではないのでしょうか。各ご家庭におかれましては、利用のルールに基づきしっかりと管理して頂きたいです。

<大切なやくそく>

- 先生の指示や話をしっかりきく。
- 友達や先生のプライバシーを守る。
- 自分のプライバシーを守る。



<充電器付きのケースに入った iPad>